

1101 読書のススメ～徳島を描いた作品を読む

2025年 秋冬公開講座 シラバス

項目	入力欄
科目分野	3. 人間・社会 （歴史・文学・政治・経済等）
昼夜	夜
講義／実習	講義
講座開始日	1/22
講座最終日	3/5
講座実施回数	6回
講座の形態（対面、オンラインなどの別）	3.ハイブリッド
曜日	木
時間数	90分
時間帯	18:00 ～ 19:30
担当教員	依岡隆児
担当教員について （所属・職名・自己PR等）	徳島大学総合科学部・教授
講座の目的	徳島を描いた文学作品を知ることと、その一節を実際に読むことで、読書を愉しみながら、作品理解を深めること。
講座の概要	徳島を描いた作品をテーマごとに毎回取り上げ、作品理解を深めていきます。取り上げる作品はモラエス『徳島の盆踊り』、太宰治「瘤取り」（『お伽草紙』）、賀川豊彦『死線を越えて』、高群逸枝『娘巡礼記』、瀬戸内寂聴『ゆきてかえらぬ』、森内俊雄「眉山」などを予定。受講生とともに徳島を描いた作品を味わいたいと思います。
キーワード	読書 名著講読 読書会
到達目標	文学の教養を高めること。本を通したコミュニケーションを実践すること
講座の計画	毎回、徳島を描いた作品を「戦争と徳島」「外国人が見た徳島」「グローバルな視点でみた徳島」「四国巡礼」といったテーマでとりあげ、その一節を読みます。取り上げる作品はモラエス『徳島の盆踊り』、太宰治「瘤取り」（『お伽草紙』）、賀川豊彦『死線を越えて』、高群逸枝『娘巡礼記』、瀬戸内寂聴『ゆきてかえらぬ』、森内俊雄「眉山」など。板東ドイツ人捕虜が徳島について書いた作品も紹介する。
テキスト	依岡隆児『新・読書のススメ』徳島新聞社、2022年、1,000円（初日に直接販売）
修了証書発行基準	開講された全日程の7割以上の出席
受講者へのメッセージ	徳島を描いた作品に出会い、読書の愉しみながら、徳島を再発見しましょう。
備考	